

## 事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年3月31日
2次評価日（課長等）	26年5月27日

1 事業名	岡谷健康福祉施設管理事業			コード	61201	
2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	健康推進課	作成者	森下 知佳
3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち			
		政策	福祉の充実	施策	地域福祉の推進	
		予算科目	岡谷健康福祉施設管理事業費	業務委託	全部委託	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	岡谷健康福祉施設条例			

## ●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
施設の概要（簡潔に）	日帰り温泉施設として、浴室、サウナ、バーデプール、休憩室、食堂などを備えている。	
目的	対象者	市民等
	意図	日帰り温泉施設として、市民の健康福祉増進を図る。

5 施設の管理運営状況	
指定管理者	(株)やまびこスケートの森 25年度指定管理料 0 円
施設における通常業務	指定管理者制度によるが、平成23年度からは岡谷市振興公社に代わり、(株)やまびこスケートの森を指定管理者として指定して、管理運営を行った。
事業の実施内容	(25年度に施設で行った運営事業・自主事業など) ・清潔・清掃を第一義として清掃に力点を置いた管理運営を図った。 ・「ロマネットの日」、「キッズわくわくプール」のイベントを毎月開催し利用者増を図った。 ・H26.5月からの2か月間の工事による休業により、他の施設へ流れるお客様に戻って来てもらうため、ギフト券と朝風呂回数券の割引販売を実施した。 ・県主催の「楽園信州ファンクラブ」の協賛施設に登録し、新規利用者の開拓を図った。 ・県教職員組合主催の「遊湯クーポン」に参加し新規利用者の開拓を図った。 ・おかや温泉の泉質を精査し、「美肌の湯」であることを突き止め、これを売りにするため、多くのサイトへ情報を発信し始めた。
前年度の課題への対応	施設のPRを積極的に行うとともに、あらゆる面において利用者の満足度を高めるための方策を実行した。

6 施設の利用状況	*②・③はどちらかの欄に記入			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 施設稼働率	99.4%	100.0%	100.0%	
年間開設日数（日）	281	312	312	265
1日の開設時間（時間）	16	16	16	16
年間利用可能時間（時間）	4,496	4,992	4,992	4,240
年間利用実績（時間）	4,471	4,992	4,992	
② 年間利用者数（人）	232,494	251,857	260,041	221,000
有料利用者数	227,824	246,075	252,739	217,000
無料利用者数	4,124	5,346	7,155	4,000
減免措置者数	546	436	147	
③ 年間利用件数（件）	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	827.4	807.2	833.5	834.0
⑤ 施設利用状況の説明				

## 7 コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	55,091,522	30,088,127	10,446,754	42,937,000
経常経費	1,915,135	1,760,492	1,855,554	1,862,000
臨時的経費	53,176,387	28,327,635	8,591,200	41,075,000
* 臨時的経費の説明	三方弁・ポンプ・ろ材交換等整備工事費、ろ過機交換等工事費			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
② 人件費	2,800,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000
正規職員の人数(人)	0.35	0.20	0.20	0.20
③ 合計コスト(①+②)	57,891,522	31,688,127	12,046,754	44,537,000
前年度比		54.7%	38.0%	369.7%
財源	57,643,932	13,841,167	11,801,369	20,685,000
一般財源				
内訳	247,590	17,846,960	245,385	23,852,000
特定財源				
* 特定財源の説明	施設財産使用料収入			
④ 施設使用料年間収入額	247,590	246,960	245,385	252,000
⑤ 年間減免措置額	231,750	103,200	101,400	109,512
⑥ 受益者負担割合	0.9%	1.2%	3.3%	0.8%
⑦ 活動一単位あたりコスト	20	13	13	
前年度比		65.8%	99.6%	
⑧ コストに関する補足説明				

## ●事業の評価 (CHECK)

### 8 妥当性評価

\* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

### 9 有効性評価

\* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1	
1日あたり利用者数、件数	前年度比 103.2%	
⑤ 施設使用料収入が増加した。	1	0
施設使用料年間収入額	前年度比 99.4%	

## ●改善の内容 (ACTION)

### 10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること) ・館を安全に運営する必要がある。 ・利用者増のための取組みを積極的に実施する必要がある。 ・バーデプールのあり方について、対費用効果を考え、今後検討する必要がある。
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) ・日常点検、定期点検、法定点検、また必要であれば市と協議しながら専門業者による点検を指定管理者が行う。 ・実施計画書の提示にある、サービス向上対策としている事業内容の協議を行い、積極的な利用者増への方策として検討、実施していく。 ・バーデプールについて昨年度に引き続き庁内会議を実施する。
改善開始時期	平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
予定事業費	41,075,000	円	予定時期 平成26年5月末～7月末
内容	男女浴室高天井工事、男子脱衣所工事、三方弁更新工事、ポンプ更新工事、ろ材交換、実費等負担金		